

<第4276回>

目的地：劔岳（劔沢経由）（北アルプス）

担当者：松岡

実施日：2022年8月10日（水）～13日（土）

形式：テント泊縦走

費用：¥22,490.-

参加者：2名

天気：晴れ

行程：

8/10（水） [阪急バス] 京都 深草（23:33）⇒（5:52）富山駅

8/11（木） [富山地方鉄道 直通バス] 富山駅前（6:30）⇒（8:45）室堂

室堂（9:20）⇒（10:15）雷鳥沢キャンプ場⇒（13:00）別山乗越⇒（14:05）劔沢キャンプ場 テント泊

8/12（金） 2:30 起床 劔沢キャンプ場（4:00）⇒（4:40）劔山荘（5:00）⇒（5:30）一服劔⇒（6:30）前劔⇒（8:30）劔

岳（9:00）⇒（10:30）前劔⇒（11:15）一服劔⇒（11:45）劔山荘<昼食>⇒（13:00）劔沢キャンプ場 テント泊

8/13（土） 3:30 起床 劔沢キャンプ場（5:10）⇒（6:15）別山乗越⇒（7:25）新室堂乗越⇒（7:55）雷鳥沢キャンプ場⇒（9:00）室堂

<立山黒部アルペンルート> [立山高原バス] 室堂（9:20）⇒（10:10）美女平

[立山ケーブルカー] 美女平（10:20）⇒（10:27）立山

[富山地方鉄道] 立山線 立山（10:39）⇒（11:45）富山

[入浴] 満天の湯（富山店）

[阪急バス] 富山駅（16:30）⇒（21:15）京都 深草 解散

感想：

8/10

出発前、天気予報は、日々変わっており、現地に行って、登頂可否を判断するしかない！ 劔岳は、岩場なので、安全が第一、Eさんと話し、登れたらラッキーという気持ちで行きましようとお出しました。

8/11

富山駅からの直通バスで、室堂に到着。晴れており、立山方面の景色もよく見えました。雷鳥沢キャンプ場からの上りの雷鳥坂は、高度差 500m で、予想通りキツかったです。Eさんもツラそうだったので、30分に1回ぐらい休みながらゆっくり登りました。ただ、このときは曇りで、風もあり、涼しかったです。上りでは、富山の大学生がボッカ訓練で50Kgを担いでいました。別山乗越に到着すると、美しい劔岳の山容が見え、ついに来たぞ！と気持ちが高まりました。劔沢キャンプ場は、テント200張りと広いですが、既に、かなりの人がいました。全国から、いろいろなレベルの方がいました（岩登りのプロ、中級の登山者、初心者っぽいカップルや家族連れなど）。水は豊富（塩素で消毒もしてある）で、スマホの電波も繋がり、快適でした。テントが風で飛ばされないように、ロープを大きい石にしっかり括り付けました。

リスクを減らすため、できる準備はやっておこうと、往復1時間ですが、劔山荘まで下見に行きました。雪渓が2か所ありましたが、アイゼンは不要でした。劔山荘で、明日の天気予報を確認すると「晴れ」、「やったあ！明日は登れるかも」とEさんと期待を膨らませて眠りにつきました。松岡は、プチ高山病の症状で、軽い頭痛がして、あまり寝れませんでした。Eさんは、熟睡できたと聞いて、安心しました。

8/12

何と、朝2時、劔岳頂上でご来光を見る人が出発。自分達は2時半起床で4時に出発。天気は良好。必要最低限の荷物のサブザックで、ヘルメットを装着、お互いに装備を確認し、「ゆっくり行きましよう！」と出発しました。劔岳には、13個の鎖場があり、各岩場にナンバープレートが付けられていました。一服劔から前劔までも、上りと下りの岩場が連続し、意外にキツかったです。両側とも谷の梯子は、渡る時に風が吹いて、少し怖かったです。早い人には道を譲り、できるだけ、自分達のペースで登ることを心掛けました。Eさんが、時折り、「ここで、写真撮ってもいいですか？」と立ち止まってくれたので、いい小休憩ができて、気持ちもほぐれました。鎖場9番の「カニのたてばい」では、渋滞しました。事前に、Yさんから教えてもらった、富山県作成のYouTubeの映像「登る前に見てほしい、劔岳クサリ場 完全ガイド」を見て、ルートをイメージしていましたが、実際に、20mの直立の岩の壁、「カニのたてばい」を見ると、「えーっ、これを登るの？」と恐怖心が出てきました。あせるな！落ち着け！ゆっくり、きちんとルートをよく見て行こうと自分に言い聞かせながら登りました。Eさんは、鎖にほとんど頼ることなく、岩を軽快に登っていました。すごい！早月尾根との合流点に到着。すごい急坂で、なるほど、Iさんがいつも熱く語っておられるわけがよくわかりました。劔岳の頂上を踏めて、本当に嬉しく、「やったあ！」とEさんとハイタッチしました。360度の景色

を堪能しました。

その後、他の登山者が、Yahoo ニュースの天気は、10 分後に雨らしいよ。ハズレかなあと書いていたが、登頂直後、本当に小雨が降りました。山の天候は急に変わるものだと、思い知らされました。下りは、岩肌が濡れて、風もあり、めちゃくちゃ緊張しました。剣山荘まで戻れると、ホッとしました。花を見る余裕もなかったです。13日は、台風接近に伴い大雨が予想されるので、12日中に、雷鳥沢キャンプ場まで行くことも考えましたが、体力的に無理と判断し、剣沢キャンプ場のテント場で、祝杯しました。

8/13

台風がそれたため、雨の心配は無くなり、帰路は、新室堂乗越コースを歩きました。お花が綺麗で、室堂や立山方面の絶景が見えるよいコースでした。雷鳥沢キャンプ場から室堂までの1時間は、2人とも疲れていて、上りの階段がつかれました。満天の湯(富山店)は、富山駅から少し離れていますが、広くて、ゆっくり疲れを癒すことができました。富山の回転寿司は美味しかったです。

今回、事前に、六甲の地獄谷、荒地山で、岩登りを訓練して、お互いの信頼関係を構築できていたのがよかったと思います。剣岳で、どの鎖場が印象に残っているかというと、Eさんは、上りの「カニのたてばい」で、松岡は、下りの「カニのよこばい」のトラバースでした。皆様の多大なサポートのお陰で、無事に登頂できました。本当にありがとうございました！